

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	まなび家大阪			
○保護者評価実施期間	令和8年1月8日		～	令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和8年1月8日		～	令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・個別プログラムによる学習支援	・アセスメントを行って利用者の障がいの種類や程度、特徴等を把握した上で現状の学力を分析し、適切な課題を用意する事で自己肯定感を高めるようにしている。	・ICT教材を導入する事によって指導員の負担を減らし、より適切なサービスを提供する事を検討している。
2	・集団プログラムによる料理や創作活動、体験活動等	・利用者にどんな活動をしたいのかをアンケートを行い、それに基づいて活動内容を決定している。	・マンネリ化を防ぐために同法人の各事業所と情報交換を行い、より充実した活動を行えるようにする。

3	・不登校児の支援	・学校と連携を行い利用者の状況等の情報交換を行い、出席扱い制度を活用している。	・本人の状況を慎重に把握した上で、スモールステップで学校と関わっていただけるようにする。
---	----------	---	--

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・細かな生活指導の充実	・事業所の人員が不足しているため、どうしても目が行き届かない場面が出てくる。	・人材確保に必要な予算を正確に算出して、費用対効果の大きい計画を作成する。
2	・組織の脆弱性	・児童発達支援管理責任者に仕事が集中しているため。	・必要な人材を確保して仕事を分散し、属人化する業務を平していく。
3			